



高倉宏明さん

金型設計を担当している高倉さん。発注された部品の設計をパソコンで行っています。この仕事をしていて嬉しかったことは「思い描いた寸法に一度で決まったとき」と話します。製品加工は一度で寸法が決まることはとても難しく、寸法に合わせるまでに形状を何度も変え調整が必要です。そしてそれが製品として車に実際に取り付けられているところを見るのも喜びであると語ってくれました。今後は金型設計の全てを1人でできるだけの技術を身につけることが目標だと語ってくれました。



木下瑞望さん

出荷を担当している木下さん。発注された製品を在庫置き場から選び、発注者のもとに届けるための準備をしています。この仕事をしていて嬉しかったことは「現場の技術職の人やドライバーなど外部の人と関わること」と話します。「支えてくれる先輩たちや仲間がいるから、仕事が楽しい」と笑顔で語ってくれました。今後は違う部署にも行ってみたいが、まずこの仕事を教えることができるくらいの技術を身につけることが目標だと語ってくれました。

## ばね工場 働く人

ばね工場の働き手は何を思い、何にやりがいを感じ仕事をしているのでしょうか。今回は中央発条工業(株)で働いている二人にインタビューをしました。



## 日田のばね

「ばね」は普段の生活で見えない所や目立たない所に使われています。戦時中に疎開工場として日田に工場が作られ、現在も多くのばね工場が日田には存在しています。今回は工業展で展示する中から、日田ばね工業会を紹介します。



## 第10回 日田市工業展

10月

18(金)~20(日)

ところ パトリア日田ギャラリー 他

内容 製品展示、体験ブース、工場見学 等

小さなばねから大きな家具、家庭の配管から木材、地酒に生活道路など、日田はいろんなモノづくりの産地って知ってましたか？どんな場所でどんなモノが作られているのか、この機会に是非、見て・知って・体感して、感動を味わってください。

※詳細は、次号の9月15日号でお知らせします。

### 日田市工業連合会とは

市内の30の団体・企業で構成され、企業間や異業種間との協力体制を強化し、日田の産業の基盤強化を推進する団体です。各種会議への参加、情報の収集・提供や意見交換会等を行っており、毎年「フォークリフト技能講習会」や夏休みに「小学生の工場見学ツアー」も開催しています。



フォークリフト  
技能講習会

小学生の  
工場見学ツアー



### 人々の暮らしを豊かに

「三方よし」を目指して  
「ばね」とは、力を加えたら変形し、元に戻るモノのことを言います。身近なものでいえば、ボールペンやソファの中にも「ばね」は存在し、弓道の弓やパラリンピックの陸上選手の義足にも「ばね」は利用されています。世の中には多くの「ばね」が隠れているけれども、あまり気付いてくれないモノ。つまり「ばね」の「縁の下の力持ち」と日田ばね工業会の竹内康晃さんは語ります。自動車1台の中に4千個も使われている「ばね」。目立たないけれど、進化・発展する世の中で役立ち、存在感を発揮し、



日田ばね工業会 竹内康晃さん

人々の暮らしを豊かにしていきたい。そして、売り手も買い手も満足し、社会に貢献できてこそ良い商売と言った近江商人の言葉「三方よし」を目指していきたい。そのためにも、日田の人に興味を持ってもらいたいし、都会に出ても日田に帰ってきて欲しい。会社の名前は知っているが何をしているのか分らないければ意味がない。そのため、今回の工業展での展示コーナーや、職場体験などを通じて情報を発信していきたいと語ってくれました。

この機会に、日田で作られているモノを見ることや、触ることでモノづくりを体験してみませんか。



ホイールの中

車内にある取っ手

▲車で使われている「ばね」は、タイヤのホイールの部分や車内にある取っ手の部分などいろいろな所に隠れています。

